

2021年9月1日

江戸取図書館便り 9月1号



— 新着本紹介 —



にひやくとおか 「二百十日」(2021年8月31日)・「二百二十日」(9月10日)

・日本に古くからある雑節のひとつです。「二百十日(二百二十日)とは、立春(2021年2月3日)から数えて210(220)日目。ちょうど中稲(なかて)の開花期で、台風襲来の時期にあたるから、農家では厄日として警戒する」「中稲とは、早生(わせ)と晩稲(おくて)との中間期に熟する植物(稲)」(広辞苑)
・授業再開に向け、図書館にはたくさんの新着本が届きました。登校再開日より開館します



・写真は左から、土手の草刈り踏み潰し(8月24日撮影)、夕方の空と雲(26日撮影)、バス停からの通り路(30日撮影)、庭先の柿の実り(31日撮影)・柿といえば、「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」(子規)



・上記左から、①2021年7月受賞 上段芥川賞2冊『貝に続く場所にて』『彼岸花が咲く島』・下段直木賞2冊『テスカトリポカ』『星落ちて、なお』②「いわさきちひろ名作絵本」立原えりか文・いわさきちひろ絵 ③雑誌「芸術新潮」9月号は、安野光雅特集 ④雑誌「Number」は、閲覧一番人気

・「世界で一番素敵な教室」は、写真とクエスチョンとアンサーで構成されるシリーズで、美しい入門書
・「DOJIN 選書」は、自然科学を専門とする出版社のシリーズ。専門的な内容をやさしく解説。

